



退任するスタッフからのご挨拶

能登高校魅力化スタッフの小澤弘壮さん、橋本光さん、杉林拓望さんの3名は今年度3月をもって退任となります。まちなか鳳雛塾での教科指導や広報活動、探究学習の伴走などそれぞれ多岐に渡り活躍していただきました。今まで活動を引っ張っていただき、本当にありがとうございました！

(以下、小澤さんよりコメント)

大阪からプロジェクトスタッフに着任して4年が経ちました。能登高生の皆、能登高校魅力化プロジェクトの方々、地域や保護者の皆様には大変お世話になりました。能登のために教育活動を続けてきましたが、振り返れば私自身が能登の方々と高校生から学びを得る場面が沢山ありました。関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

また、退任後も能登に拠点を置く予定です。関わり方は変わりますが、引き続き能登での活動を続けていくつもりなので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(以下、橋本さんよりコメント)

1年間という時間でしたが、たくさんのこと学ばせていただきました能登高校魅力化プロジェクトや能登町、能登高校の先生方、生徒の皆さま、保護者の方々、地域の方々に大変感謝しております。

大学に戻ってから引き続き高校魅力化や地域における教育についての政策など、肌で感じた課題の解決に少しでも貢献できるよう努めて参ります。

今後とも能登とのつながりを持ち続け、関わり続けたいと考えております。これからも能登が復興を進め、より魅力的な地域となりますよう心より応援しています。

(以下、杉林さんよりコメント)

この1年間に、能登という豊かなフィールドで様々な挑戦をする貴重な経験を積ませていただきました。そして、その環境を与えて下さったすべての方に感謝しております。

また、引き続き能登の活性化に貢献するために、場所は変わりますが大学で専門の水産を究めて参ります。

もちろん、あばれ祭りや好きな場所、会いたい人など帰ってくる理由が山ほどある能登なので、これからも足繁く通うことになると思います。その時はまた、よろしくお願ひいたします。



▲卒業生と話す小澤さん



▲探究学習の伴走をする橋本さん



▲水産のゼミを開く杉林さん

立命館宇治中学校・高校で探究学習の先進事例を視察

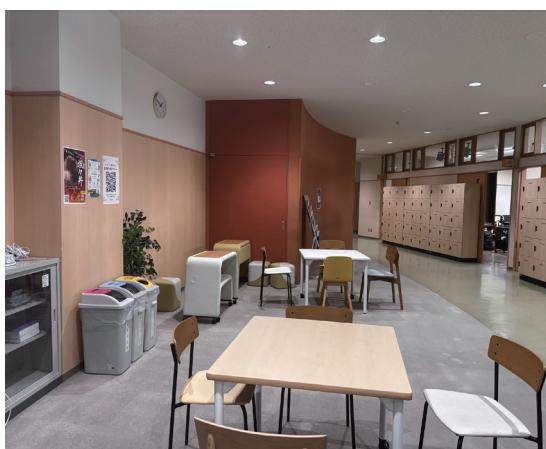
能登高校を含む奥能登地域の県立高校では、現在、石川県奥能登県立高校魅力化推進業務の一環として、教育活動をより充実させるための様々な取り組みを行なっています。令和7年12月12日には、探究学習の先進校として知られる京都府の立命館宇治中学校・高等学校への視察出張を実施しました。

今回の視察には、能登高校の教員と能登高校魅力化プロジェクトスタッフ、飯田高校の教員、そして本業務を支える県復興探究コーディネーターが参加しました。学校や立場の垣根を越えて集まったメンバーの目的は、奥能登5校における総合的な探究の時間の質を向上させることです。特に、生徒が自ら進路を選び、社会とのつながりを感じられるようなカリキュラムの設計や、それを支える先生方の指導体制について、具体的な知見を得ることを目指しました。

現地では、総合的な探究の時間の授業を見学させていただきました。文部科学省の中教審WG委員も務める酒井淳平先生との対話の時間も設けられ、先進的な教育現場がどのように生徒の成長を促しているのかについて、深いお話を伺うことができました。

視察を終えた能登高校魅力化スタッフからは、とても前向きな声が届いています。能登高校での探究活動にすぐに活かせる学びが多くあったという感想のほか、先生方が自身の得意な領域を活かして指導にあたれる制度設計の重要性についても新たな気づきがありました。また、立命館宇治高校の生徒たちが、自分たちの課題解決に向けた狙いやプロセスを自信を持って主体的に話している姿が非常に印象的だったといいます。

この視察で得られた数多くのヒントは、次年度以降の総合的な探究の時間をさらに充実させ、能登高校の魅力をより一層高めていくための大きな糧となります。生徒一人ひとりが自分の可能性を信じ、能登町から世界へと自信を持って歩み出せるよう、私たちはこれからも一丸となって魅力ある学校づくりに挑戦し続けていきます。



おしらせ

まちなか鳳雛塾では、週1回程度を目安として、中学生対象の自習開放日（無料）を設けています。今月の中学生向け自習解放日は2/20(金) 2/27(金)です。